

山行報告

【山城】 鈴鹿山脈・雨乞岳

【日時】 2021年2月11日(木・祝日) 晴れ

【メンバー】 S.M., K. T., T.M. (記録 T.M.)

【コースタイム】 行動時間 8:05. 距離 14.0 キロ. 累積高度(+ -850m)

8:20 グリーンランドいわなの里スタート

(積雪にて甲津畑登山道入り口より1キロほど手前に路駐,これより先は冬季進入禁止)

9:25 桜地蔵尊

10:15 蓮如上人旧跡

12:15 杉峠 (ランチ約30分)

12:45 雨乞岳目指しラッセル開始

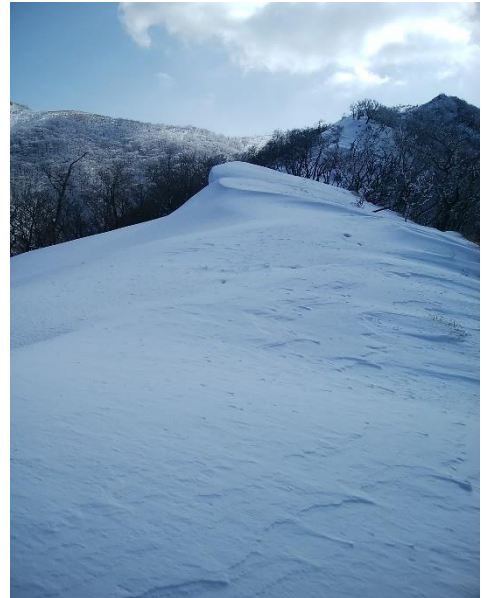
13:20 前山的な小ピークの p1141 で時間切れとなり引き返す

13:35 杉峠

14:45 蓮如上人旧跡

15:25 桜地蔵尊

16:25 グリーンランドいわなの里ゴール



(P1141 からの眺望↑左は東雨乞岳、右は雨乞岳に続く稜線)

【概要】

積雪期の雨乞岳にベテラン1名と冬山経験のほとんどない2名が挑んだ。天候もよく杉峠まで楽に歩けると思っていたが大間違い。途中単独の登山者が下りてきたので理由を尋ねると「雪が深く引き返してきた」と話される。以降は3日ほど前に歩いたであろうと思われるトレースがわずかにあったが蓮如上人旧跡あたりからトレースなし、積雪量も増え、丸太を組み合わせただけのツルツルで川底が見える橋を渡るのに苦労する。

更に夏場であれば幅50センチ程あった崖っぶちの道が雪で数センチの幅で路面が見え隠れするだけになっていたり、雪崩跡があったり、危険個所に設置されたロープは凍って殆ど雪に埋もれて使用不可能状態。今更ながら夏道との違いを痛感する。杉峠手前のトラバースは全く雪に覆われ、さらに雪の下が氷化していてピッケルでカッティングしながら進む。やっと杉峠につきランチ休憩を取り、もうここで引き返そうかとも思ったが、ベテラン氏から叱咤激励を受け雨乞岳を目指す。しかし p1042 の杉峠から雨乞山頂は急斜面で登ろうにもラッセルに疲労困憊、自分が先頭に立ち積雪の少ないところを歩いたつもりがそこは岩場で行きもできず戻りもできず…無雪期は p1238 の山頂まで40分程らしいが、35分ラッセルしてたどりついた p1141 で山頂までの高差100mを残して撤退。100m進むのがどれくらい大変なことか痛感すると共に、ピッケルを突き立てないとバランスが取れず立位保持困難な状況も初めて体験する。

山頂は踏めなかったものの、p1141からの眺望は素晴らしく、東に御在所岳・鎌ヶ岳、西に綿向山、北はイブネ・クラシと展望が開ける。青空のもと霧氷も綺麗に付いており今までの疲れも吹きとぶ爽快感を味わう。

P1141から杉峠までの下山はベテラン氏が先頭に立って、たぶんここは夏道であろうと思われるところをうまく探し当てて歩いてくれたので大助かり。長年の経験の技と知識に学ぶところ多しと感じる。

復路は天候もよく気温が上昇した為、蓮如上人旧跡以降はほとんど雪解けしており、速やかに下山できた。

ベテラン氏の機転で、日野町の古い町並みをドライブし街道の豪商屋敷に飾られたお雛様を車窓から眺める楽しいおまけ付き。

冬山の厳しさを垣間見れ、学ぶところの多い山行でした。ご指導頂いた先輩に感謝します。